

職員による自己評価

A環境面

商業ビルであり、不特定多数の来館がある亜  
為、不審者の入出防止策が必要

□共同オフィスのため防犯対策が必要

11Fのため、地震対策が必要

運河パーク花時計プロジェクトによる

自然や外部の人とのふれあいが豊富

文化施設や観光地など外出先が豊富

B児童への支援内容

児発官2名体制(教育指導経験者、障害当事者)

保護者との将来を見据えた連携

少人数で個別の状況に応じた学習プログラム

C関係機関との連携

共同オフィス入居団体によるボランティア

中区自立支援協議会参加団体との連携

市内特別支援学校、福祉施設等との連携

D保護者への説明責任・信頼関係

保護者による送迎が多く、日常的に情報共有  
ができる

連絡帳やお便りで活動や子どもの状況共有

E非常対応

法人主催の防災訓練の他、ビル管理法人によ  
るテナント防災訓練参加、法人事務局応援

保護者による評価

A環境面

外出、花時計で自然や文化とふれあえる

共同オフィスの他団体の大人との接点がある

B児童への支援内容

保護者ニーズや課題分析と計画が充実

活動プログラムは子どもと決めて居る

パソコン教室や製作、ゲームが良い

保護者も参加出来るプログラムがあり楽しい

C事業所からの情報発信

支援内容や負担については説明されている

子どもの発達状況や課題について共通理解が  
できている

保護者との面談や支援はされている

苦情対応の体制はある

活動や行事について子ども作成の便りが良い

D非常対応

緊急対応マニュアルがあり、災害・荒天時の対応  
について周知されている

非常時に備えて定期的に訓練をしている

事業所内での分析

【共通点】

利用年数が長くなり、利用者の個性や良いところが理解できている

保護者とスタッフ、スタッフ間の情報共有し、長期的な視点での支援計画ができてきた

プログラムは、利用者の要望を聞き、スケジュールも子どもたちができるようになった

花時計プロジェクト、パソコン教室など、スタッフ以外の大人や、大人の障がい当事者との

関わりが子どもたちにとって良い影響を与えている

子ども同士の関係性が強まり、互いに理解し、支え合い、学び合う様子が見られる

ラインやメールを活用して連絡がスムーズになった

【相違点】

特になし

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

共同オフィス、特別支援学校との連携  
少人数による臨機応変な支援  
多様な経験・知識を持つスタッフ  
長期展望の支援計画の策定  
市内特別支援学校との連携  
デイ実施時だけでなく、学校や他施設との情報共有ができています

### 事業所の改善点

防災対策  
不審者の入出防止策  
更新に向けた対応検討  
（高層階、外部トイレ等）  
進路に向けた指導・体験の機会検討  
記録書類等の整備

### 事業所の改善への取り組み

中区障害者自立支援協議会開催研修の活用  
業務書類の整備（個別指導指摘点の改善・整備）  
利用当事者・支援者双方の自立支援・自己決定支援に関する研修開催（キャリアカフェ事業連携）  
□関係のある作業所、就労支援事業所への見学・訪問・説明会等の実施（ガイボラ事業連携）

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

元金沢養護学校副校長渡邊先生の個別指導、保護者の相談対応が好評。  
初めての卒業生を送り出し、子どもの成長に応じて、将来設計を念頭に入れた支援を強化したい。  
利用者保護者との関係性は、良好であり、家庭と連携しながら、一人一人の子どもの個性を伸ばしていきたい。  
引き続き少人数での一人一人の状況に応じた支援を続けていきたい。  
卒業生が気軽に来訪できる体制づくりを行っていきたい。

事業所名 移さびよん ホットスポット

担当者 渡邊、後藤、山野上